

令和4年度第1回 摂津市健康づくり推進協議会 <ご意見・ご質問と回答>

(1) まちごと元気！健康せつつ21（第2次改訂版）計画進捗管理について（令和3年度実績及び令和4年度事業計画）

ご質問・ご意見

1 生活習慣病の早期発見・重症化予防

(1) がん検診の進捗

- ①「小中学校より保護者向けにがん検診案内チラシを配布し、受診勧奨をした」とあるが、効果はどうであったのか？
- ②「受診率の低い地域でバス検診を実施できるよう、施設状況の確認を行い、医療機関と調整した」とあるが、地域別の受診率について資料をお示しいただきたい。また、バス検診の効果はどうであったのか。
- ③コロナの状況が落ち着くまでは、健診については波があるのは仕方ないと思う。
- ④「コロナの中での受診率向上の取り組みが課題……」とあるが、具体案を示してください。

回答

1 生活習慣病の早期発見・重症化予防

(1) がん検診の進捗

- ①令和元年度及び令和2年度から令和3年度の小中学校の親世代の受診率の推移より、新型コロナウイルス感染症による受診者数は低下又は横ばいであるものの、40歳代の割合（子宮頸がん検診は30歳代、40歳代割合）は、いずれの世代も増加しています。チラシの配布による一定の効果があったと考え、子育て世代、働く世代への周知方法として、引き続き教育委員会と連携し進めてまいります。
- ②がんの種別による受診率では、5がん検診全体について、他の校区に比べて四中校区の受診率（男女計）が低い傾向にあります（令和元年度実績）。乳がん、子宮頸がん検診については、市内外医療機関での受検機会がありますが、胃がん・大腸がん・肺がんについては、保健センター及びがん循環器病予防センターの2か所と限られていることから、身近な地域で受診ができる機会をもてるよう、令和4年度は四中校区での出張型バスがん検診（胃がん・大腸がん）実施に向けて、地域の関係機関や実施医療機関と調整してまいります。
- なお、地域別の受診率を資料にて提供することについては、今後検討してまいります。
- ③④⑤⑥⑦⑧
- がん検診を受けない理由としては、「受ける時間がない」「健康に自信があり必要性を感じない」「心配な時はいつでも医療機関を受診でき

ご質問・ご意見

- ⑤婦人科系検診の受託医療機関が増えて良かったと思う。
- ⑥がん検診のチラシは活気的でとてもよいと思う。中でも金額のお得感がひと目で分かりやすい。このチラシを摂津市民全ての世帯に配ってほしいと希望します。
- ⑦小中学生の保護者に向けた案内チラシの配付やワクチン接種会場での配付は、広報では届きにくい層への働きかけとして有効と思う。他にも、育児グループや商工会等の団体から個々に周知する仕組みを通年で計画してみてもどうか。
- ⑧がん検診の受診率を上げる為によく努力されていると思います。コロナ禍において密にならぬよう、他会場、時間の延長は必要かと思います。成人歯科検診において、私の感覚では2回目の勧奨ハガキが効果的だと思います。2回もきたので受診しなければならないと考えるようです。ご検討ください。
- ⑨近年のコロナ感染症の影響で疾患治療の通院も控えるようになってきている。その中で未病に対する事業でありひどい成績悪化があると想像したが健闘しているとおもいます。
- 市の事業としては受診率が目標値に対して解離がないことが求められるのですが、目標達成の観点からは厳しい状況でせつかく出来た検診なら異常値に対する受診勧告の取り組みをもっと丁寧に、徹底的に出来ないかとおもいます。
- ⑩バリウムによる胃がん検診は時代遅れになってきていると思いますが如何。

回答

- る」等があげられています。がん検診は、早期発見が大事で、早期には自覚症状がないことから、定期的な検診受診が重要です。引き続き、広報やポスター、チラシの配布など、市民全体への周知と共に、よりがんによる死亡率が高くなる世代への受診勧奨を行うことで、がん検診受診への意識を高めてまいります。また、令和4年7月より、乳がん検診の実施医療機関を茨木市内にある田中病院、サンタマリア病院、谷川記念病院の3か所を拡大しました。希望されたら、すぐに受診ができるよう、引き続き検診機関の拡大を進めてまいります。
- ⑨がん検診につきましては、要精密検査になられた方が精密検査を受検されることが大切です。摂津市及び保健センターでは、がん検診の結果、精密検査が必要な方で未受診の方に対し、精密検査の受診勧奨を個別に実施しています。精密検査受診率は向上してきておりますが、令和2年度実績で89.7%と目標の90%に届いておりません。コロナ下で受診控えのある方についても、その必要性を伝え、精密検査受診率の向上に努めてまいります。
- ⑩国の指針に基づき、市が実施する対策型がん検診で推奨されている胃がん検診は、バリウム検査及び胃内視鏡検査の2種類です。摂津市で

ご質問・ご意見

⑪大腸がん検診は便潜血検診と改名できませんか。ほかのがん検診と異なり陰性はがんがないと言えない。陽性の時にしかこの検査の意義がないと理解してる人は少ない。

⑫【無料クーポン送付対象者・自己負担額一覧表】の中で、65歳、70歳の胃がん、大腸がん、喀痰検査は通常料金で有料となっている理由は何でしょうか。

回答

は、現在バリウムによる胃エックス線検査のみ実施しており、胃内視鏡検診については、読影体制の構築から近隣医療機関との連携も含めて体制を整える必要があります。引き続き、関係機関と相談しつつ実施に向けて検討してまいります。

⑪市では、国の指針に基づき、大腸がん検診を便潜血検査による検診方法で行っていますが検診名の改名については現時点では考えておりません。他市町村の状況を確認し、判断してまいります。今回のご指摘のとおり、市が実施する対策型がん検診は、有効性（受診した集団全体で、がんで死亡する人の割合が減少するなど）が確立し、不利益（検診・精密検査での偶発性や偽陽性者への精神的不安、過剰診断）とバランスを鑑みて推奨された検診を実施することが大切です。市で実施するがん検診について、これらの内容を市民へ正しく啓発していくとともに、がん検診で要精密検査が必要となった場合に、必ず精密検査を受診していただけるよう、情報を正しく伝えてまいります。

⑫がん検診の無料クーポン対象者については、国が実施する「がん検診推進事業」及び「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に基づき対象者を定めており、子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳、大腸がん検診は40歳から60歳までの節目の方を対象にしておりますので、65歳、70歳の胃がん、大腸がん、喀痰検査は対象外となり有料での受診となります。本市では、併せてがん検診の受診率向上を目指し、胃がん検診、喀痰検査等も無料クーポン対象者としてクーポン券の送付を行っています。

ご質問・ご意見

⑬乳がん検診は女性対象となっておりますが、私と同年齢の男のゴルフ仲間が数年前、別件の診察を受けていた時に、乳首の周りにしこりがあると申告したら、乳がんと診断で手術したと聞きました。男性も乳がんになると知りましたが、どんな対処が必要でしょうか。

⑭【図表 2】の中で対象者数 (98052・101919) は何の数字でしょうか？H27 年度から同数字であるのはなぜですか。

⑮このコロナ禍の影響下で令和 2 年度よりがん検診の受診率が低迷しているのが残念です。特定健診も同様である。コロナ禍でも地域の方に安心して受けてもらう仕組みを考えていく必要が受診率向上につながるのでしょうか。例えば自宅でできる癌のスクリーニング検査 (尿や指先の採血での検査) を導入するものかどうか。これで診断ができるものではありませんが、がん検診受診への後押しになるものではないでしょうか。

回答

⑬乳がんは一般的に女性に多い疾患ですが、男性の乳房に発生すること (男性乳がん) もあり、乳がん全体の約 1%を占めるといわれている希少がんです。数が少ないため、米国のデータでは、女性が生涯を通じて、8 人に 1 人乳がん罹患するのに対して、男性では生涯を通じて 1000 人に 1 人が乳がん罹患すると言われています。症状としては、しこりの触知や乳頭からの出血等、女性と同じで、検査・治療法も同じですが、市が行う乳がん検診は、国の指針に沿って女性のマンモグラフィ検査を実施していますので、男性は対象となりません。まれであるものの、起こりうるがんとして、女性のみならず、男性も含め、「プレストアウェアネス」の理念を普及啓発していきます。

⑭がん検診の対象者数については、大阪府より示される「(40 歳以上の市町村人口) - (40 歳以上の就業者) + (農林水産業就業者)」により算出された対象者を使用しています。但し、大阪府においても、対象者数の算出方法が変更になりますので、今後の算出方法は、大阪府に合わせて変更してまいります。

⑮がんは、早期発見が重要であり、そのためには、予防とがん検診が重要です。市が行う対策型がん検診は、死亡率が低下することが明確に示されている有効性の示されている方法で実施する必要があります。現在本市では「がん検診実施のための指針」に基づき対象者や検診方法で実施しております。また、身近な地域で安心して受けていただけるよう、受診機会の拡大を引き続き努めてまいります。

ご質問・ご意見

⑩全がんの SMR が悪化しているようですが、どの部位のがんが問題なのでしょうか？

⑪部位により、対策は異なると考えられます。がん検診の普及も大事ですが、生活習慣の改善（喫煙、飲酒、栄養、）と環境因子のコントロールも強化する必要があるかもしれません。

(2) 特定健診・特定保健指導の推進

①新型コロナウイルスの影響による受診控えから健診受診率は低下したものの、特定健診後の保健指導率は 20.8%も増加しており、府内トップクラスとのこと素晴らしいです。令和元年度から 2 年度にかけて保健指導率がアップした理由はどのようなもののでしょうか。

②健診当日のプレ指導は効果的と思われます。前年の結果を踏まえた指導ができればなお充実した指導ができると思われます。

③特定保健指導の実施率が R2 年度は 69.8%と、突出してますが理由は何でしょうか。

④【図表 4】で全国・大阪府・摂津市の比較の中で H28 年度以後は摂津市の実施率がアップし、R2 年度は一段と高いのは、どんな理由でしょうか？

⑤ナッジ理論、初耳でした。またどんな勧奨ハガキか教えて下さい。

⑥ナッジ理論を活用したことの評価はどうか。

⑦頑張っていると思います。

回答

⑩⑪がん対策センター「統計でみる大阪府のがん」で見ますと、2010 年～2012 年より 2013 年～2015 年の標準化死亡比は、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がんにおいて高くなっています。これらのことから、がん検診の受診勧奨と合わせて、がんになりにくい生活習慣や予防の啓発に努めてまいります。

(2) 特定健診・特定保健指導の推進

①②③④特定保健指導実施率の高さについては平成 28 年度より行っている特定保健指導未利用者対策が主な要因であると考えられます。特定健診当日にプレ指導を行い特定保健指導への導入をスムーズにすることで実施率向上を図っていましたが、令和 2 年度より保健師の数を増やしプレ指導を集団健診のセットプラン（午前）受診者に加え、基本プラン（午後）受診者に対しても実施するようにしたことなどにより更なる実施者数の増加につながりました。

また令和 2 年度はコロナの影響もあり、特定健康診査の受診率が低下する中で特定保健指導については一定の水準を維持できたことも実施率が高まった要因にあげられます。

⑤⑥⑦

ナッジ理論を活用したことによる評価について、単純な比較はできませんが、ナッジ理論を活用した受診勧奨について、延べ 5,853 人に対し計 10,000 通の受診勧奨ハガキを送付し、うち 2,128 人が受診。受診率は 36.4%となっています。令和 2 年度以前の過去 3 年の受診勧奨者の受診率の平均が 16.7%であることを考えれば一定の効果があったと考えます。

ご質問・ご意見

⑧かかりつけ医で生活習慣病を受診していて、年数回の血液検査、エコー検査等をし、検査結果による医師の指導を受け投薬で健康状態を維持している人は、多いのではないのでしょうか。そんな人は追加して特定健診を受けようとは思わないでしょうか。 そんな人は特定健診受診者として認めてもいいのではないのでしょうか。ところで、特定健康診査の受診率の分母は何でしょうか。

⑨特定健診受診率が過半数を切る状態のない、5P以降の健診ベースの評価指標値の信頼性とその解釈は大丈夫でしょうか。

⑩受診者について、新規、過去受診あり、毎年等の区分は出せないでしょうか。新規が増えていくように事業を進めていくべきと考えます。

⑪コロナ禍における特定保健指導の実施率を向上させるために、今後のニーズを踏まえ、遠隔指導の普及・支援等の指導方式の工夫の検討はされているのでしょうか。

⑫特定保健指導の意義を考える上で、保健指導事業による改善効果とその効果の持続に関する評価はされていますか。

回答

⑧ご指摘の点について、一定の検査項目を満たすことで特定健診の受診者とみなす議論が国で行われており、今後も動向を注視してまいります。また、特定健康診査受診率分母につきましては、当該年度の4月1日時点で国保資格を有し、年度末年齢が40歳以上74歳以下の人から除外規定（妊産婦・拘禁者・長期（6か月以上）入院者、施設入所者）内の人を除いた数が特定健康診査の受診率の分母となります。

⑨ご指摘のように特定健診の受診をベースとした指標が多くあることから、元となる特定健診の受診率向上に努めてまいります。

⑩抽出そのものは可能ですが、コロナの影響や健康意識の高い団塊の世代の後期移行もあり、新規等の区分の推移から傾向をつかむのは困難となっております。なお、事業の進め方についてはご指摘の通り新規を増やすとともに、30代の若年者や受診を中断した層も含め幅広く受診勧奨を行ってまいりたいと思います。

⑪遠隔保健指導については、被保険者の需要状況について現場での確認を行うとともに、導入による効果など、将来的な導入に向け研究していきたいと思います。

⑫対象者の次年度の腹囲や体重の改善割合を確認するなど、特定保健指導の進捗管理に基づく評価を行っています。

ご質問・ご意見

(3) 循環器疾患対策の推進

- ①P6 下部「令和3年度計画」ハイリスク者の基準について見直し資料説明を読みますとよりわかりました。これは肥満・非肥満ともにハイリスクアプローチとして重複の基準設定と考えてよいでしょうか。
- ②頑張っていると思います。
- ③ハイリスク者へのアプローチ対策は重要かつ有効な取組みであると思いますが、ハイリスク者をどのようにして見つけ出すかが課題で、重症化の予防の最大のポイントだと思います。
- ④私事ですが、かかりつけ医の指導で毎朝血圧測定をし、その結果を月1回の投薬時に提出していますがこの間、血圧計の表示に『不規則脈波』と警告があり、即日かかりつけ医の診察をうけたら『不整脈』との診断で治療を受けました。何の自覚症状もなく、毎朝の血圧測定をしていなければ気付かずにいたことと思います。自分の健康状態をチェックしていくことが大事だと痛感したところです。
- ⑤血圧高値者の割合が増加傾向にあり、ハイリスク者への継続的なアプローチとともに、長期的な視点でのポピュレーションアプローチが必要と考えます。国保データベースにおいても、患者数や医療費も増加傾向にあるのではないのでしょうか。
- ⑥ハイリスク対象者に対し、医療機関への受診勧奨を継続的に実施される取組みは大変重要と思うので、根気よく取り組んでほしい。

回答

(3) 循環器疾患対策の推進

- ①ハイリスクアプローチは、肥満・非肥満ともに基準値以上の対象者へ実施してまいります。重複の基準設定に関しても同様です。
- ②③④⑤⑥
- 健診後の受診勧奨については、健診結果の異常値が示す意味合いをより分かりやすく具体的に伝え、対象者が自ら問題意識をもって受診していただけるよう効果的なアプローチ方法を検討してまいります。また、経済的困窮があり、受診を控える方については、関係課と連携しながら安心して受診できるよう支援してまいります。
- また、何より、健診を受けていただくことが大切です。より多くの方に健診を受けていただけるよう、関係機関と連携し、各健診の受診率向上に努めてまいります。

ご質問・ご意見

⑦脂質異常の者や、メタボリックシンドローム該当者の割合も増加していますが、府や他市と比べてどうでしょうか。傾向についての記載があると全体像が把握でき、本協議会での課題の共有や、それに対する施策の一体的な取組みが展開できるのではないかと考えます。

(4) 糖尿病対策、慢性腎臓病（CKD）対策の推進

①肥満を伴う血糖高値者について

健診最終チェック時、肥満、高血圧の方の話を聞くと「ずっと太っているし、家族も皆太っているけど元気にしている」と言われる事が多い。特保の当日面談についても「毎年同じ事を言われるだけ」と周囲に似たような生活習慣でずっと生活されている為、改善の難しさを感じます。やはり、子供の頃からの食育の大切さを感じます。

②令和4年度計画の動画配信による啓発は良いと思いますが、若い人にどう周知徹底されるかですね。

③頑張っていると思います。

④人工透析患者の減少は認められるのでしょうか。

回答

⑦令和3年度の特健診の結果（暫定値）をみますと、メタボ該当者は府に比べ若干高いですが、同規模市町村と比べると同程度の比率です。ただ、LDL コレステロール等脂質異常が疑われる方の割合は、府・同規模市町村と比して高い状況です。また、摂津市の心疾患、特に急性心筋梗塞における摂津市の標準化死亡比（SMR：国や府を基準としてそれと比べてその地域が多いか少ないかを比較する指数）は高いことが分かっており、摂津市の健康課題の一つです。引き続き、発症予防のためにも、脂質異常やメタボリックシンドロームへの取組みに努めてまいります。

(4) 糖尿病対策、慢性腎臓病（CKD）対策の推進

①②③

生活習慣改善のための啓発や指導は、本人の気づきを促すことが大切です。同じ生活習慣をしても、年齢と共に変化していくことに気づき、生活を改めていただくことで予防につながります。気づきを促すために、日常から予防の意識を高めていただけるような情報発信と、毎年の健診でデータの変化を自分事として認識いただけるよう、結果発送の通知書に注目を引くことができるような媒体を同封し、その後電話で受診勧奨を行うなど、アプローチ方法を工夫し実施してまいります。

④国民健康保険加入者における年度平均の直近の人工透析患者数をみると、令和元年から令和3年度は段階的に減少しています。国保加入者数全体の減少など、多角的に評価する必要がありますが、本課の取り組みの直接的な効果であるとは断定できませんが、引き続き、適切な医療の受診勧奨と、食生活等の指導を実施してまいります。

ご質問・ご意見

2 生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活

- ①生活習慣改善において、食生活部門で『摂津市クックパッド』を初めて知りました。とても活気的で驚きました。
- ②クックパッドは広く認知されているので、市公式のクックパッドを市全体で盛上げて食育の推進につなげていただければと思います。
- ③YouTube やクックパッドを一人暮らし高齢者が利用できるかが問題ではないでしょうか。
- ④YouTube 利用など工夫していると思います。
- ⑤SNS による情報発信やクックパッドの開設などは、若い世代の食生活への意識や関心の向上に繋げるツールとして意義が大きいと思う。

- ⑥摂津市名産「鳥飼ナス」は摂津市クックパッドにもレシピで掲載されているが、一般的に売られていないので手に入らない。一般市民の食卓に登るような工夫をしてもらいたい。

- ⑦朝食を食べている割合の増加は啓発等の効果でしょうか。

回答

2 生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活

①②③④⑤

SNS を通じた情報発信は、比較的若い世代に啓発する手段として有効であると考えております。子育て世代も、育児のすき間時間に閲覧することができるため、健康になる食生活の推進を目指して、テーマを工夫しながら発信してまいります。高齢者等 SNS の利用があまり習慣化されていない方に対しては、引き続き広報紙等の媒体による周知に加え、地域のリハサロン等での講話により、フレイルや生活習慣病予防の啓発に努めてまいります。また、今年度より、近隣の大学と連携し、一人暮らしの高齢者にフレイル予防や健康になる食事をテーマにしたレシピ集を作成・配布します。今後も、様々な機会を通じ、食の健康づくり啓発に努めてまいります。

⑥地場産物の啓発は代表的な食育の取組みであるため、今後も継続していきたいと考えます。身近な食材への展開など市民の方々が参考にさせていただき易い工夫も掲載しています。

⑦朝食摂取については、全市的に啓発に取り組んでいるところです。調査対象である学校現場においても「朝ごはんコンテスト」や「生活実態調査」などを通して摂取率向上を図っています。食育啓発は毎年の積み上げが重要と考えるため、更に来年度以降の割合の変動も注目していきます。

ご質問・ご意見

⑧離乳食講習会の参加率が低下傾向ですが、コロナ感染状況が影響しているのでしょうか。

(2) 運動・身体活動、社会環境

①日常生活におけるウォーキングで、男性の割合が減っている件について、平日の午前中、学園町の平和公園には65才以上の男性がたくさんおられます。イスに座って本を読んでいる人、ブラブラ歩いている人等。見るからに家に居づらく生き場のない人のように見えます。このような男性の方々に情報を提供できる工夫があれば、生活習慣における何かが変わっていく様に感じます

②ウォーキングコースの紹介や健康器具の使い方も是非広報やホームページなどでPRして頂きたいです。市民の方々にまず知ってもらうことが大事かと思います。しかし、なかなか関心を持ってもらうことも難しいです。健診会場など有効に情報提供も良いかと思います。(待ち時間を利用)例えば見える化で“あなたの数値”は今ここです。川のどのあたり、上流・中流・下流など。

③コロナ禍で糖尿病患者が自宅に引きこもりがちとなり運動不足になることや、サービスの利用や受診控えなど、ケアマネジャーの約80%がマイナスの影響があったと回答されています。難しい問題ですが、よろしくお願い致します。

④ウォーキングは高齢者にとっては最適な運動と思いますが、コロナ禍の中、この夏は猛暑の中、活動しにくい環境条件が続いていますが、そんな中、楽しんで出来るウォーキングを企画したらどうでしょうか。

回答

⑧参加率の低下についてですが、緊急事態宣言発令に伴い、令和2年4・5月の離乳食講習会を中止したこと、離乳食講習会の定員は25名にしておりますが、コミュニティプラザの感染症対策の観点で定員を半減したことが原因と捉えています。

(2) 運動・身体活動、社会環境

①②③④⑤⑥⑦

運動習慣を効果的に実践してもらう一つの取り組みに、摂津市ではまちごと元気ヘルシータウンせつつ事業として、ウォーキングコースの開設や周辺公園での健康遊具の設置を行っています。更に、うきうきせつつウォーキングの開催と健幸マイレージポイント事業を組み合わせ、一人でも多くの方が気軽にウォーキングを楽しみながら実施できるよう取り組んでいます。今では、早朝から多くの市民がウォーキングコースや河川敷をウォーキングされている姿が見られます。今年度は、ウォーキングの効果を科学的に説明するとともに、健康遊具を紹介し、効果的に実践してもらえよう動画にて啓発することで、市民の皆様いつものウォーキング等の運動をより効果的に楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。

コロナ禍において、外出自粛や行動制限をきっかけに、運動やグループでの体操などが減少しております。その影響か、メタボ該当者も令和2年度、令和3年度は増加しており、運動習慣をつけていただくことは重要です。誰もが気軽に運動できるウォーキングだけでなく、市内のスポーツ施設などの情報を幅広く市民へ発信していくとともに、楽しんで参加できるような企画を関係者と検討しながら、実施してまいります。

ご質問・ご意見

例えば 一昨年の企画で写真を撮りながらウォーキングをしてマイレージポイントを貰うコースの中の通過点（公民館、体育館）で確認印（証明印）を貰ってポイントに還元する。

- ⑤摂津市内全体的に、運動できる場所、施設が少ないように思いますが、淀川、大正川等の河川敷の有効な活用方向等を考えてもらえたらと思います。
- ⑥目標項目の達成には、担当課が実施する事業の他、地域の体育館等の活用も大きく反映されると思う。その分野の状況も記載があってもよいのではないか。
- ⑦新型コロナウイルス感染症を怖がるあまり、外出自粛が度を超え、却ってうつ状態や免疫力低下、地域活動力を低下させていると考えます。感染リスク制御と運動の奨励のバランスに関する知識をもっと啓発すべきと考えます。
- ⑧YouTube 利用も視野に入れているようでこのまま頑張ってください。行動変容の取り組み、駅階段の運動へ誘導する試みがありましたがその後追加の計画や、近隣へ広げることは計画していないのでしょうか。

回答

- ⑧昨年度、千里丘駅において、大阪府事業「10歳若返り事業」の一環として行動経済学を基にした「行動経済学を活用した健康になる空間づくり」に協力いたしました。1か月の効果実証でしたが、仕掛け前後で階段利用者が59%増加し、その効果は2か月間持続したことが明らかになってきました。本事業は、モデルとして摂津市内千里丘駅を活用し実施されましたが、今後、その取り組みを府内の駅へ広げていくとお聞きしています。今年度は企業をターゲットとして公募され、取り組みを継続されますので、引き続き大阪府と連携してまいります。

ご質問・ご意見

(3) 休養・睡眠

①4年度計画に「睡眠や休養に関する情報を啓発」とあります。内容(情報やチラシなど)について本協議会の委員にお知らせ頂けるとそれぞれの立場で情報の発信、協力ができると思う。課題の共有がまず大切ではないか。

(4) こころの健康

①新型コロナウイルスの影響により自殺者が増加するのではないかと懸念します。摂津市の特徴である高齢者が多いことに加え、人とのつながりを持ちにくい環境や経済的な問題など様々な要因が絡むと思います。

今後も保健所を含め関係機関と連携し対策を進めてください。

②コロナ禍によるうつ及び若者の自殺が増えているとの事です。若者にも相談先の情報が伝わる様お願いいたします。

(5) 喫煙

①喫煙禁止エリアでの周知が不十分になっていると感じています。料金の計画はないのでしょうか。昔あったたばこの購入は市内でとの税収目的の看板はもう無いですね。健康都市の中にはあってはならない看板と思いますが如何。

(7) 歯と口の健康

①オーラルフレイルを予防するのに役立つ「毎日パタカラ」という、サンスタが提供する無料アプリがあり、手軽に毎日のトレーニングに活用できる。啓発として、活用してはどうか?

回答

(3) 休養・睡眠

①適切な睡眠や休養は、こころの不調や生活習慣病の予防につながります。現在は、市内各機関やホームページ上での啓発を行っておりますが、今後、関係される方々と課題や情報を共有し、より広く啓発していけるよう努めてまいります。

(4) こころの健康

①②摂津市においては、自殺対策の一環として相談支援連絡会を実施し、生活困窮や多重債務、障害、保健、福祉に関する相談を担当する部局が集まり、情報を共有し、自殺対策について協議しています。自殺の要因は一つとは限らず、複数の要因が絡み合った結果であることから、引き続き関係各課で連携し、自殺予防の取り組みを進めてまいります。また、相談機関もチャットでできるなど、多様化していますので、若者から高齢者まで、アクセスしやすい相談方法を周知してまいります。

(5) 喫煙

①摂津市では、「摂津市健康づくり推進条例」を制定し、受動喫煙の防止の観点で施策を進めております。健康増進を目的とした施策であり、引き続き、路上喫煙禁止地区をはじめ、様々な場面・手法により、たばこによる健康被害の啓発に努めてまいります。

(7) 歯と口の健康

①②健康増進、介護予防の視点から、オーラルフレイルを予防する取り組みは非常に重要であると認識しております。現在、動画による啓発や、地域のサロン等でオーラルフレイルの予防のための口腔機能体操

ご質問・ご意見

②いろいろとご協力ありがとうございます。歯科医師会も更に予防に力を入れてまいります。成人歯科検診は毎年定期的に受診される方が増えており、医療費抑制に繋がっていると思います。

③歯科保健活動に関するニーズが高まっていますが、成人以降の市民における基本データが受診率の比較的低い歯科健診からのもの以外にないことが心細いと考えます。歯科の国保オンライン化はどのような状況でしょうか。

③後期高齢者歯科健診の受診者数は把握できるでしょうか。誤嚥や栄養状態の悪化防止などの観点から、結果を分析することで課題がみえるのではないかと。介護予防につなげる情報としても必要ではないかと。

(8) 母子保健

①鳥飼のような殺人事件がごく一部であると信じたい。虐待を疑われる時点で介入を強化出来ないでしょうか。

回答

などを実施しています。また、令和2年度より後期高齢者歯科健診が実施され、咀嚼機能や嚥下機能に関する健診が行われるようになりました。また、市民の誰もが気軽にアクセスできる口腔機能向上のためのアプリも開発、リリースされていますので、これらの社会資源を活用しながらフレイル予防に努めてまいります。

③成人歯科健診においては、要精検・要指導者率を年代別に抽出しており、令和3年度は令和2年度と比較しますと、40代50代要精検者の割合が9～10%増加しています。また、国保分において、健診要精検者における健診後の歯科受診率をみたところ、令和3年度は、令和2年度と比較し、40代50代の健診後の受診率が14%台から38%台に上昇しており、60代は45%から72.9%、70代は80.8%から87.3%に上昇しています。このことから、健診を受けることにより、適切な受診につながるため、引き続き、歯科健診受診率向上に向けて歯科医師会と連携し、歯科口腔疾患予防に努めてまいります。

③後期高齢者歯科健診は、健康増進法による歯科健診を参考にしつつ、咀嚼や舌・口の機能、嚥下機能などを確認するなど、高齢者の特性を踏まえた検査内容で実施されています。健診の受診状況等は、広域連合より国保年金課へ情報提供されますので、市の様々なデータと共に今後活用していけるよう検討してまいります。

(8) 母子保健

①虐待が疑われるケースに関しては家庭児童相談課に連携をして対応を協議しております。介入が必要と思われるケースに関しては、家庭

<p><u>ご質問・ご意見</u></p> <p>(9) 北大阪健康医療都市（健都）を中心とした健康・医療のまちづくり</p> <p>①健都ヘルスサポーター制度に参加しました。</p>	<p><u>回答</u></p> <p>児童相談課ケースワーカーが家庭訪問を行い、指導を行っているところです。今後も児童虐待防止に向けて関係機関と連携を図りながら取り組んでまいります。</p> <p>(9)</p> <p>①健都においては、ハード面の整備が進んできたことから、現在では、ソフト面の整備として、市民が産学官と共に共創しながら健康づくりをしていける取り組みを進めています。ヘルスサポーターの参加により、健都全体の医療・ヘルスケアが推進していくことで、市民がより健康になれる取り組みを引き続き進めてまいります。</p>
<p>情報提供</p>	
<p>(1) 令和3年度 摂津市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の取り組み状況について</p>	
<p><u>ご質問・ご意見</u></p> <p>①服薬適正化推進事業について、今後、より薬局へ相談しやすくなれば良いと思いました。かかりつけ医にてずっと同処方を受けることが多いですが、見直すきっかけができると良いと思います。先日、通所事業利用者様が体調不良で初めて国循受診され、降圧剤中止になり、体調回復されるという事がありました。</p> <p>②出張集団健診は大変良いと思います。地域の方々にとっては受診しやすいと思います。是非進めて頂きたいです。</p> <p>③今後の展開拝見いたしました。良く考えられており特に意見はありません。</p> <p>④現在の取組で引き続きお願いしたいと思います。</p>	<p><u>回答</u></p> <p>①被保険者の服薬リスクの軽減を図るため、引続き、服薬適正化の取り組みを推進してまいります。</p> <p>②③④令和4年度についても実施の方向で検討・調整を進めてまいります。</p>

ご質問・ご意見

- ⑤保健指導対象者への指導は100%の実施率は素晴らしいと思います。ハイリスクの警告を貰えば、自己の健康への認識が高まり、繋がりがやすくなりますが、前記した様に潜在ハイリスク者をどのような方法で繋げるかが、腕の見せ所だと思います。
- ⑥今後の展開に「早期に腎専門医へ受診できるよう、かかりつけ医との連携体制の構築を図ります。」とあります。連携は、個別ケースを通しての積み重ねやCKDの病期について、主治医、本人、保健師の共通認識が重要と思いますが、具体的な取組みはどのようなものか。

回答

- ⑤受診する必要がある方には、受診後早期に電話や訪問等によるアプローチを行い、受診勧奨するとともに、その後レセプト確認し、受診状況を確認していきます。その結果、受診につながらない方へは再度受診勧奨を行うことで、重症化予防に努めてまいります。
- ⑥CKDの対策は、専門医につなげることが重要です。個別ケースに受診同行したり、主治医への連携を試みるなど、引き続き連携の体制構築を進めてまいります。

ご質問・ご意見

- ①HPV ワクチン接種率の低さは安全性や副反応への不安かと思いますが、市内で重篤な副反応報告はありますか。
- ②他の予防接種率に比べ、BCG 接種率が極端に低下していることについてその理由をどのように分析されていますか。
- ③全体的に令和2年度と比較して令和3年度の接種率が低い。特に BCG の接種率が 98.8%→82.6%と落ちていることが気にかかります。
- ④婦人科医は是非受けて頂きたいとおっしゃっていますが、HPV 接種率が上がりませんが如何か。
- ⑤HPV ワクチンが遅れている。積極的にアナウンスするべきと考えるが如何。各種がんがあるが、がんを予防できるワクチンがあることは素晴らしいと啓蒙するべきでは。そのほかのワクチンは頑張っていると思います。
- ⑥広報等でも必要性等を報告してもらえると良いかと思えます。

回答

- ①HPV ワクチン接種による重篤な副反応に関する報告はありません。
- ②③年度単位での接種状況を把握できるようにするため、BCG を含む0歳児が接種するワクチンの接種予定者の考え方を令和3年度より変更しております。報告時点では82.6%でしたが、令和4年3月生まれの4か月児健診でのBCG接種結果が追加され、8月末時点では94.8%となっております。
- ④⑤⑥HPV ワクチンに関して、令和3年5月に高校1年生相当の女子(363人)・小学校6年生相当の女子(358人)の保護者宛に厚生労働省と市作成のリーフレットを配付いたしました。積極的勧奨が再開されたので、令和4年5月に小学6年生から高校1年生相当の女子(1,771人)の保護者とキャッチアップ接種(H9.4.2～H18.4.1生までの女子・3,577人)の対象者宛に予診票、厚生労働省と市作成のリーフレットを配付しております。また、広報せつつ令和4年4月号にもHPVワクチンの予診票発送の案内を掲載しております。今後もHPVワクチン接種をはじめ、予防接種各種について、啓発に努めてまいります。

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1～4 回目接種

ご質問・ご意見

- ① コロナウイルスが変異していき、ワクチンが効かないとか、ワクチンを受けている人ばかりがコロナにかかりやすいとか、いろいろなうわさを耳にします。実際のところが知りたいです。
- ② 高齢者は重症化するケースが多いため重症化予防のためのワクチン接種が重要です。7月8日時点での65歳以上の3回目接種率は79%とのことですが、引き続き3回目、4回目接種の啓発をお願いします。
- ③ 摂津市は18歳以上の方全員に接種券を発送されており、年齢等対象者が変更になった場合もスムーズに行くので、とても良いと思います。
- ④ 今までの新型コロナウイルスワクチンは国の方針が遅かったり、曖昧だったりの中頑張っていると思います。しかし、4回目接種を受けている高齢者に感染が見られ効果が薄れているのではと感じています。他市では接種会場での感染もあるのではと危惧しています。特に観察時間を求められているので接触時間が長くなる可能性があります。
4回目接種の対象者の市民にくだいほどにアナウンスしてください。医療機関に相談としないように。接種時には確認だけにしてください。
- ⑤ 10月からオミクロン株に対するワクチン接種が始まるようですが、その際には集団接種を再開しないと1回目の時のようにパニック状態になると思

回答

①②③④⑤⑥ウイルスは絶えず変異を起こしていくものですが、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。現在、日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症予防に高い効果があり、また、感染や重症化を予防する効果も確認されています。時間の経過とともに感染予防効果や発症予防効果が徐々に低下する可能性はありますが、重症化予防効果は比較的高く保たれていると報告されています。

流行株の変異や社会状況により、国の方針も変わります。国の動向に注視しつつ、情報に変更がある場合は、国の指示に基づき、市民が混乱しないよう、様々な媒体により、正確な情報発信を行うとともに、医療機関のご協力を賜りながら、接種体制の確保に努めてまいります。

ご質問・ご意見	回答
<p data-bbox="264 248 1200 379">います。医療機関はその頃には発熱外来、インフルエンザ感染等に対応してると考えられ、接種は再度市が主導して行うことになると思います。準備を考えてください。</p> <p data-bbox="237 448 1169 579">⑥第7波が予想外に早く来て、ワクチンの4回目の接種を、3回目接種後5か月になったころから接種券の発送に少し遅れがあるように思いますが、いかがでしょうか。</p> <p data-bbox="237 647 1200 727">⑦5才～11才接種後の副反応はどうだったか、接種の有無で感染後の症状にどれ程の差があったのか知りたいです。</p>	<p data-bbox="1234 647 2112 874">⑦現在、国内において5～11歳に対して使用されているワクチンは、ファイザー社（5～11歳用）のワクチンですが、12歳以上の方と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が臨床試験で確認されているものの、ほとんどが軽度又は中等度であり回復していると報告されています。</p> <p data-bbox="1234 890 2112 1174">また、接種の安全性については、厚生労働省において集約され、厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会）で評価・分析されています。2022年8月5日における議論では、小児に対する接種については約270万回（2022年2月21日～7月10分）実施されており、現時点においては、ワクチンの接種体制に影響を与えるほどの重大な懸念は認められないとされています。</p> <p data-bbox="1234 1190 2112 1471">なお、オミクロン株の流行である第7派においては、10歳未満の小児の感染が増えました。感染時の症状として、けいれん等の症状が報告されているため、予防接種による効果がリスクを上回るとの見解で、令和4年9月6日付けの関係法令等の改正により、5歳から11歳にも努力義務が適用されることとなりました。これらの状況を基に、市民の方へ接種について正しい情報を発信してまいります。</p>

<p>その他</p>	
<p><u>ご質問・ご意見</u></p> <p>①目標（値）に対して、成果が出た時の要因、出なかった時の原因を追跡し、今後の施策の参考にすべきだと思います。</p> <p>②（感想）資料のみではなかなかデータなど盛りたくさんで理解度が不十分になります。資料説明を添付して頂けてよりわかりやすく思いました。</p> <p>③先日、茨木保健所運営協議会に参加しました。保健所の事業内容等をモノレール車内のモニターで動画を流すそうです。摂津市でも例えば病院送迎バス車中等にポスターを掲示させて頂き、受診勧奨されてはいかがでしょうか。</p> <p>④今は情報をネットから探すことが普通になり、市民向けの配付資料等は市役所のホームページから分かりやすくアクセスできるように出来ないでしょうか。出来ればトップからわかりやすいリンクを作ってもらいたい。</p> <p>⑤動画配信が沢山企画されていますが、残念ながら、私は見過ごしていました。多くの反応があったようで、これからは多くなると思いますので、PRをしっかりしてもらいたいと思います。</p> <p>⑥全体として、ホームページやSNS、YouTube等を活用した新規事業は大変将来性があり興味深いと考えますが、個人々人に対して情報発信する傾向があるので、従来から口コミや集会のような主催者と市民とで一緒にテーマについて情報交換する方式を残し、市民の共同体意識の醸成、コロナ禍における市民ボランティア活動の支援にも留意することが大事と考えます。</p>	<p><u>回答</u></p> <p>①②健康せつつ21計画につきましては、平成30年度に中間報告を行い、目標値に対する中間評価を実施いたしました。令和5年度には、最終評価を実施し、目標に対する実績の評価や課題を分析し、次期計画策定を進めてまいります。</p> <p>③④⑤⑥市民への啓発については、動画や広報紙、ホームページ、はがき、SNS等で啓発しておりますが、公共交通機関等のポスター掲示等新たな取り組みも検討してまいります。また、ご高齢の方などは、口コミによる情報の取得も効果的です。地域の関係団体や集まる場なども有効に活用しながら、情報提供を進めてまいります。なお、ホームページも、よりアクセスしやすいようなものとなるよう、関係課と検討してまいります。</p>

ご質問・ご意見

⑦最近のコロナウイルス感染者の数は摂津市で1日250人を超える勢いで延人数でも16000人を超えました。陽性者になったとたんに、社会から隔離され、連絡が途絶える様に強く思います。医者からは『後は保健所からメールが届きます』と縁切りされ、メールは待ちに待って3日後に、『登録しました』とメールであるだけ。様態の把握や状況の確認などは一切なし。『自宅待機SOS』に連絡し、パルオキシメーター配送、簡易配食の依頼するも、なかなか届かない。こんな状態で置かれたら、一人暮らしの人たちは元気のある人でも、心折れてしまいそうです。
摂津市のサポート体制で支援できないでしょうか。

回答

⑦新型コロナウイルス感染症の第7派感染拡大により、より重症化のリスクが高い高齢者等へファーストタッチが行われ、基礎疾患のない方等は、SMSによるメッセージの送付とオンライン上で入力することでの健康観察となりました。現在は、陽性の方でも、症状が軽快されてから24時間経過後又は無症状の場合、短時間で感染予防対策を徹底すれば食料の買い出し等必要最小限の外出は認められるなど、オミクロン株の特性を鑑みた柔軟な対応がなされるようになってきましたが、市民の方がそれら様々な情報を得ることができるよう、今後も摂津市の管轄保健所の茨木保健所等と連携し、情報を発信してまいります。また、摂津市では、自宅療養中の市民の方へ「自宅療養支援パック」を無料でお届けしています。中には、ごはんパックやレトルト食料品概ね5日分と、マスク・ハンドジェルなどの感染予防用品が入っています。今後も、陽性となられた方を含む市民の方へ、必要な情報を伝えるとともに、市で実施できるサービスについても引き続き検討してまいります。